

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		小・中学校環境整備事業費 [小・中学校環境整備事業]									
予算科目	款 10	教育費	項 2・3	小・中学校費	目 1	学校管理費	事業番号	2			
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	教育総務		課	施設係		係	課長名	中橋 健			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	1 - 1			
【施策名】 学校教育の充実							総合計画書 (ページ)	31			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	市内小・中学校(15校)における学習環境				環境整備事業に計上された全事業数						
	→										
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
計画的に整備された良好な学習環境				改修、整備を実施した学校整備事業数							
→											
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
<小・中学校施設修繕、施設維持改修工事、委託> (小学校) 1、施設維持改修工事 2、小学校体育館空調設備設置工事 3、小学校校庭芝生化維持管理委託 (中学校) 1、施設維持改修工事 2、中学校トイレ洋式化工事 3、中学校体育館空調設備設置工事				全ての事業を実施した							
→											
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標			
	対象指標	①の数値	事業	21	13	6					
	成果指標	②の数値	事業	21	13	6					
	目 標	②の目標値	%	100	100	100					
		目標値設定の考え方 計画的な改修工事・整備を実施し学習環境を確保する。									
活動指標	③の数値	件	21	13	6						
3 経費	事業費(実績)		円	464,933,995	118,405,444	481,048,535	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、 8,380,000円 時間単価は、 4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	8,357,995	51,051,444	204,017,535					
		特定財源(国・都・他)	円	456,576,000	67,354,000	277,031,000					
		(うち受益者負担)	円								
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	4.0	4.0	4.0					
		所要人数(再任用)	人								
		職員人件費(再任用以外)	円	33,240,001	33,240,002	33,520,000					
	職員人件費(再任用)		円								
事業費+人件費		円	498,173,996	151,645,446	514,568,535						
4 環境変化等	(1) 開始年度		学校設立時より								
	(2) 環境の変化		当市では建設時から40年以上経過している学校が多く、また学校によっては50年以上経過しているため、現行法に適合しない部分や経年劣化による危険箇所等があり、安全確保のための対策が必要となっている。その為、適正な教育環境の確保を目的とした改修工事が重要となっている。								

事業名称	小・中学校環境整備事業費 [小・中学校環境整備事業]			
担当部署・課長名	教育総務	課	施設係	係 課長名 中橋 健

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 学校施設の老朽化が進んでいるため、各学校や保護者、市民の方から施設改修の要望が多く寄せられている。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☐ 取り組んだ	取組手法：		
	☒ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 引き続き国や東京都の動向を注視し、市の財政や改修工事の平準化を図るべく計画していく。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 国庫補助金や東京都の補助金を有効活用し市の財政負担を最小限に抑えた。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 引き続き国や東京都の動向を注視し、市の財政や改修工事の平準化を図るべく計画していく。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 学校教育の充実 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☒ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 学校施設長寿命化など国や東京都が推し進めていこうとしている事業や施策について情報収集に努めながら動向に注視していく。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	全ての学校施設を良好な環境に保つには、市としても多くの財源が必要となってくることから、改修工事計画を立案することも困難な状況である。今後は市の公共施設総合管理計画に基づく学校施設の個別施設計画を策定し、トータルコストの削減や予算の平準化を図りながら事業を実施していく必要がある。			